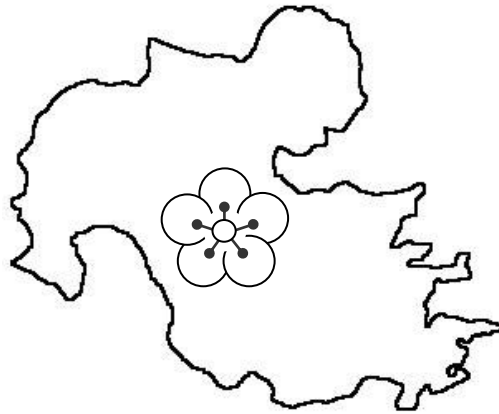


第 38 回

大分県臨床細胞学会

総会および学術集会

□ プログラム □



会 期 2023年2月18日(土) 12:00 ~ 17:00

会 場 大分県立病院講堂(3階)

〒870-8511 大分市豊饒二丁目8番1号

TEL : 097-546-7111, 7112

主 催 がん診療連携拠点病院機能強化事業

後 援 大分県臨床細胞学会

第 38 回大分県臨床細胞学会開催に向けてのガイドライン

【学会を安全に開催するために】

本ガイドラインは、標記学会を開催する際に実施する新型コロナウイルス感染症の感染予防、感染拡大防止のための対策を示すものです。

主催者は施設担当者と調整を図り、3密回避対策を中心に本ガイドラインに示す具体的な対策を徹底し、感染予防、感染拡大防止に取り組みます。

【具体的な対策】

学会 前準備	<ol style="list-style-type: none">1 学会の責任者、担当スタッフの区分を明確化2 学会後 14 日以内に感染者及び感染疑い者が発生した場合の対応を検討3 学会参加者が密になりにくい会場レイアウト等の計画4 ガイドラインの具体的な対策を学会参加者に周知5 「新型コロナウイルス感染拡大防止のための体調チェックシート」(以下、チェックシート)を作成し、県内会員に事前配布
学会 当日	<ol style="list-style-type: none">1 学会参加者は、マスクの常時着用、手指消毒を徹底2 学会参加者は、自宅であらかじめ検温を行う3 会場前でマスク着用確認、手指消毒、チェックシートの確認、検温を実施4 入場時の検温及び学会参加者から提出されたチェックシートにより、以下に該当する者の学会参加を禁止する<ul style="list-style-type: none">・入場時 37.5 度以上の発熱・7 日以内に息苦しさ、全身倦怠感、咳やのどの痛みなどの風邪症状、味覚・嗅覚異常あり・7 日以内に 37.5 度以上の発熱あり・7 日以内に外国への渡航又はそうした方との濃厚接触あり・7 日以内に新型コロナウイルス感染者(感染疑いを含む)との濃厚接触あり5 会場内の座席は一定の間隔をあけて配置6 会場の窓及び出入口ドアは常時開放し、手指消毒用アルコールを設置7 座長及び演者席に手指消毒用アルコールを設置8 座長及び演者席、フロア等で使用する PC、マイク等はスタッフが休憩時間に消毒を実施9 感染疑い者が学会中に発生した場合は、速やかに主催者は以下の対応を行う<ul style="list-style-type: none">・感染疑い者を直ちに隔離・感染疑い者が発生したエリアのアルコール消毒・大分県新型コロナ相談センター(24 時間対応:097-506-2775)に状況を報告
学会 終了後	<ol style="list-style-type: none">1 学会終了後、使用したテーブル、マイク、備品類等の消毒実施 (消毒方法はアルコールを使用し、消毒液のついたペーパータオルで拭く)2 個人情報の観点から、チェックシートは事務局が保管(学会終了後 1 か月保管)3 学会終了後に感染者及び感染疑い者が発生した場合、必要に応じて情報提供を行う

【参考資料】

新型コロナウイルス感染症禍における MICE 開催のためのガイドライン第 6 版(2022 年 12 月 6 日)
(一般社団法人日本コンベンション協会)

学会場（大分県立病院）アクセス地図



* 学会当日は外来駐車場をご利用ください。

お知らせ

1 学会に参加される方へ

(1) 新型コロナウイルス感染防止対策

- ・学会開催にあたり、感染拡大防止のため「現地開催に向けてのガイドライン」を必ずお読みになり、対策の徹底をお願いします。
- ・学会の1週間前から不要不急の外出を控え、体調管理に努めていただくようお願いいたします。
- ・チェックシートは、必要事項をご記入のうえ、感染対策受付（3階）に提出をお願いします。
- ・感染対策のため、スライドカンファランス標本は準備しませんので、大分県臨床細胞学会ホームページに掲載された画像をみて、2月17日の17時までに回答を投票してください。（投票先アドレス：uto.mitsuaki.080@m.kyushu-u.ac.jp）

(2) 感染対策受付

- ・会場（講堂）に入る前、3階講堂手前廊下で感染対策受付を行ってください。
- ・感染対策受付は12:00から行います。
- ・マスクの着用確認、手指消毒、チェックシートの確認、検温を行います。

(3) 総合受付

- ・感染対策受付終了後、講堂入口で総合受付を行ってください。
- ・総合受付は、感染対策受付が終了した方から順次行います。
- ・総合受付は日本臨床細胞学会会員カード読取で行いますので、会員カードをご提示ください。また産婦人科の先生方は、e医学会カードを合わせてご提示ください。
- ・大分県臨床細胞学会に入会ご希望の方は、総合受付でお申し込みください。

(4) 学会参加費

学会参加費として1,000円を総合受付で申し受けます。（学生無料）

2 演者、座長、司会者の方へ

- ・総合受付で出席の確認、演者の方はスライド受付を行ってください。
- ・液晶プロジェクター1台を使用いたします。
- ・文字化けや改行等のトラブル回避のため、各自媒体をご持参のうえ、発表の30分前までに受付確認を済ませてください。
- ・演者の方はスライドの試写に立ち会ってください。
- ・一般演題の発表時間は7分、質疑応答は3分です。時間厳守をお願いします。

3 細胞検査士、細胞診専門医および産婦人科の先生方へ

- ・細胞検査士の単位証明帯を総合受付でお渡しします。
- ・細胞診専門医の先生方に学会参加証（単位認定証明）を総合受付でお渡しします。
- ・産婦人科の先生方に産婦人科医会シールを総合受付でお渡しします。

4 発表演題に関する利益相反の開示について

筆頭演者ご自身の過去1年間における、発表内容に関連する企業や営利を目的とする団体に関わる利益相反の有無をスライドタイトルページに続いて次のページで開示してください。

【開会あいさつ】 13:00~13:05

学会長 卜部 省悟 (大分県立病院 臨床検査科病理部)

【一般演題】 13:05~13:35

座長: 西田 陽登 (大分大学医学部 診断病理学講座)

櫻井 雅英 (大分市医師会立アルメイダ病院 臨床検査部 病理診断科)

1 細胞像を検討し得た円柱腫 (cylindroma) の1例

大分県立病院 臨床検査科病理部

○和田 純平 (MD) 近藤 嘉彦 (MD) 卜部 省悟 (MD)

同 臨床検査科検査研究部

加島 健司 (MD)

同 臨床検査技術部

梶川 幸二 (CT) 田中 百香 (CT) 後藤 裕幸 (CT) 溜島明寿香 (MT)

阿部 史海 (MT) 衛藤 莉和 (MT) 山下佐知子 (CT) 佐藤 恭子 (CT)

鳥越圭二郎 (CT)

2 リンパ節に発生した未分化大細胞リンパ腫の1例

大分大学医学部 附属病院病理診断科・病理部

○横峯友里奈 (CT) 立川 諒太 (MT) 藤本 彩花 (CT) 須川美沙希 (MT)

清岡 征司 (CT) 岩尾 聡美 (CT) 平川 功二 (CT)

同 診断病理学講座

川村 和弘 (DDS) 草場 敬浩 (MD) 小山 雄三 (MD) 西田 陽登 (MD)

同 附属病院病理診断科・病理部、診断病理学講座

駄阿 勉 (MD)

3 胃粘膜下腫瘍様の形態を示した腹膜悪性中皮腫の一例

独立行政法人国立病院機構別府医療センター 病理診断科

○中園 裕一 (MD) 芦田 拓未 (CT) 澤田 吉人 (CT) 後藤 優加 (CT)

【教育講演】 13 : 45～14 : 45

座 長： 丸田 淳子（野口病院 病理診断科）

『検体誤認防止の取り組み』

大分県立病院 臨床検査技術部 田中 百香 先生

【スライドカンファレンス】 14 : 55～15 : 55

司 会： 小山 雄三（大分大学医学部 診断病理学講座）
大森 博人（リンテック大分ラボラトリー）

症例 1 大分県地域保健支援センター 検診検査課 平丸 正宣（CT）

症 例：40 歳代，女性

検査材料：自然尿（LBC 標本）

病 歴：協会けんぽ一般健診の尿検査で尿潜血を認めたため，問診時の指導でオプション検査として尿細胞診の追加を勧奨。

過去 5 年間当センターの検診受診歴なし。標本は健康診断時の尿をウリキープ 5D で固定し LBC 標本を作製

- 選 択 肢：1. 尿路上皮内癌
2. 低異型度乳頭状尿路上皮癌
3. 扁平上皮への分化を伴う尿路上皮癌
4. 膀胱原発扁平上皮癌
5. 子宮頸部 HSIL/CIN3

症例2 大分県立病院 臨床検査技術部 梶川 幸二 (CT)

症 例：40代，女性

検査材料：左乳腺穿刺

染色法：Pap染色

現病歴：エコー検診にて異常を指摘され紹介受診された。

病変はE領域に存在し，辺縁不整で，乳頭につながる13×19mm大の腫瘍性病変であった。マンモグラフィーではカテゴリー3であり，乳癌が疑われた。

- 選 択 肢：1. 乳管内乳頭腫
2. 乳腺症型線維腺腫
3. 葉状腫瘍
4. 非浸潤性乳管癌
5. 浸潤性乳管癌 腺管形成型

症例3 大分県厚生連鶴見病院 病理診断科 近藤 能行 (MD)

症 例：70代，男性

検査材料：乳腺（穿刺吸引細胞診）

既往歴：2型糖尿病，高血圧，慢性肝障害，慢性腎臓病，M弁閉鎖不全，A弁閉鎖不全，慢性心不全，冠動脈バイパス術後，心房細動，右大脳梗塞，胸部大動脈瘤（術後），L1圧迫骨折

病 歴：左乳腺腫瘍を自覚し，超音波検査で18×39mm大の分葉状腫瘍を指摘された。

- 選 択 肢：1. 浸潤性小葉癌・多形型
2. 粘膜関連リンパ組織型節外性辺縁帯リンパ腫（MALTリンパ腫）
3. 形質細胞腫瘍（形質細胞骨髓腫または骨外性形質細胞腫）
4. 形質芽球性リンパ腫
5. 上のいずれでもない/わからない

【総 会】 16 : 05~16 : 50

【閉会あいさつ】

学会長 卜部 省悟（大分県立病院 臨床検査科病理部）